

目次

第1部 論文

| | | |
|--|-----------------------------------|----|
| 短期プログラムにおける活動間の連携の可能性 ー日本語授業・交流授業・文化講義・文化体験の有機的な結びつきー | 阿部 美恵子 釜淵 優子 吉兼 奈津子 柳 圭相 | 5 |
| 質問と解答を考える読解の授業 | 田中 恵子 | 21 |
| 留学生の就職活動に寄り添うビジネス日本語コース構築の試み | 釜淵 優子 | 29 |

第2部 活動報告

| | | |
|----------------------|---------------------------|----|
| 日本・東アジア研究プログラムの日本語授業 | 阿部 美恵子 | 43 |
| 日本語Ⅰ・Ⅱ | 薄井 良子 内藤 真理子 長谷川 哲子 | 45 |
| 日本語Ⅲ | 内藤 真理子 森本 郁代 | 47 |
| 日本語Ⅳ | 森本 郁代 | 49 |
| 日本語(論文作成A) | 田中 恵子 | 50 |
| 日本語(口頭発表A・B) | 竹内 茜 | 51 |
| ビジネス日本語A | 釜淵 優子 | 53 |
| ビジネス日本語B | 釜淵 優子 | 54 |
| ビジネス日本語C | 釜淵 優子 | 55 |
| 日本語総合演習A | 平野 幸夫 | 56 |
| 日本語(聴解・会話) | 森本 郁代 | 58 |
| 日本語教育基礎・日本語教育基礎演習 | 阿部 美恵子 | 59 |
| 留学生Week | 阿部 美恵子 | 61 |
| 初等部訪問 | 阿部 美恵子 | 62 |
| 国際交流基金関西国際センターとの交流会 | 阿部 美恵子 | 64 |

第3部 関学日本語教育研究会報告

| | | |
|--|--------------------------|----|
| 関学日本語教育研究会の趣旨 | 長谷川 哲子 | 69 |
| 学生による相互評価と自己評価 ー学習者オートノミーの向上を目指してー | 薄井 良子 大河内 瞳 内藤 真理子 | 70 |
| 作文の自己修正を促すための教師フィードバックとピア・レスポンス ー自律的な書き手となることを目指した 中級日本語作文授業の実践報告ー | 内藤 真理子 中野 陽 | 71 |
| 読解内容の確認と口頭説明能力の向上に向けた「図解」利用タスク | 長谷川 哲子 | 72 |
| 会話授業におけるタスク ー日本語母語話者との接触を増やすためにー | 菅 摂子 | 73 |
| 口頭発表への質問・コメント・回答の仕方を意識するための練習 | 阿部 美恵子 | 74 |
| ビジネス日本語コースにおける就職活動へのサポート的役割 | 釜淵 優子 | 75 |

| | | | |
|--|-------|--------------------------|----|
| リンクワードを使った話し合い | | 薄井 良子 手科 美保 内藤 真理子 | 76 |
| 3色ペンを使用した聞き取り練習の効果 | | 阿部 美恵子 | 77 |
| 漢字ハンター | | 薄井 良子 内藤 真理子 | 78 |
| 例文データベースからの練習問題自動作成 | | 西村 由美 | 79 |
| レギュラーブレ1-1 これからどうする?? | | 薄井 良子 西村 由美 | 80 |
| 日本語初級文法クラスでの気づきと試み | | 瀬井 陽子 手科 美保 | 81 |
| 初級レベルの日本事情クラスにおける教材紹介 ー日本語による食文化の講義の理解促進のためにー | | 阿部 美恵子 | 82 |
| 学部一回生を対象としたアカデミック・ライティングの実践報告 | | 内藤 真理子 | 83 |
| <hr/> | | | |
| 第4部 広報活動 | | | |
| 日本語教育センター通信 | | 阿部 美恵子 | 87 |
| <hr/> | | | |
| 別表(担当者一覧表、履修者数) | | | 91 |
| 『関西学院大学日本語教育センター紀要』刊行ならびに執筆要領 | | | 95 |
| 執筆者紹介 | | | 97 |
| 編集後記 | | | 98 |